温かい学級づくりをサポートし、

不登校０を目指す養護教諭としての役割

～的確な情報提供と効果的なチーム支援会を目指して～

安芸市立清水ヶ丘中学校　養護教諭　竹村眞紀

不登校生徒の出現率が高いという課題のあるＡ校は、本年度「新たな不登校生徒を生じさせない」学校づくりを目指した。昨年度「学級づくりリーダー養成研修会」に参加した筆者は、研修で学んだことや養護教諭としての役割を生かし、不登校を生じさせない取組を進めたいと実践的な研究に取り組んだ。

養護教諭であり特別支援教育学校コーディネーターとして、校内支援体制を整備･運営するとともに学校全体で「よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケートhyper-QU (以下hyper-QU)」hyper-QUを活用し学級・生徒の状態を把握しながら、居心地のいい学級づくりを目指す取組を進めてきた。

配慮が必要な生徒に対して学年団と連携してチーム支援体制をつくり、個別の対応を行った。また、中１ギャップをなくすための小中連携の工夫や構成的グループエンカウンター等の仲間づくりが取り組みやすくなるように資料の整備などに取り組んだ結果、不登校生徒出現率を減少させることができた。

キーワード：不登校0を目指す、 hyper-QU、チーム支援会、構成的グループエンカウンター、小中連携教育